~保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例~

★CASE 9★

島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター

東保育所(邑南町)

【保育園DATA】

〇所在地: 邑南町中野2310

〇法人名:社会福祉法人石見さくら会

〇定員:60名

※平成29年9月4日時点で在籍数60名

- 〇職員構成(保育士)
 - ・正規職員 9名
 - 臨時職員 1名
 - ·パート職員 6 名
 - •保育助手 4 名
- 〇法人内他施設
 - ・子育て支援センター(東保育所併設)
 - ・いわみ西保育所 (定員120名)
 - •日貫保育所 (定員20名)











〇 松本文子 所長が大切にしていること

一人ひとりが自分らしさを発揮でき、人を 認め合い支え合うことのできる職場環境

☆ 松本 文子 所長略歴 ☆

- ・都内公立保育所に5年間勤務の後、旧石見町立乳児保育所に入職し保育現場に携わる。
- ・平成16年4月より「社会福祉法人石見さくら会いわみ西保育所」に勤務。
- ・平成27年4月から同一法人内の「東保育所」所長に就任。現在に至る。

保育士がいきいきと働ける環境を整備するために

○保育士一人ひとりの個性を大切にしたい

保育士にもそれぞれ個性があり、得意分野や好きな事など自分らしさを持っています。 そういった自分らしさを保育の中で発揮できるような保育現場でありたいと考えています。 保育士が「やりたい」と思う事を相談しやすい体制作りを心がけ、相談してきた事に対 しては否定せずに保育士の思いを引き出し、主任や他の職員も一緒になってどうしたら実 現できるかを考えるように努めています。

当園では若い世代の保育士も多く、エネルギッシュに提案をしてくれます。自分らしさを発揮すると共に、お互いを認め合い支え合うことを大切にしたいと思っています。

○毎日の連絡会でコミュニケーション&情報共有

当園では、毎日子ども達の午睡時間に併せて連絡会を行っています。各クラス・調理室から代表者が集まり、その日のクラス内での子どもの様子や家庭からの連絡事項などを報告し合い、連絡事項がもれなく全職員に伝わるよう各クラスに持ち帰り伝えます。

パート職員や交替勤務などで毎日全員揃う事が難しい職場ですが、毎日の連絡事項は連絡ノートに記入して職員室に常時設置し、誰もが確認できるよう配慮しています。

保護者との信頼関係を築く上でも、全職員が共通の情報や認識を持って対応する事を大切にしたいと考えています。

また、職員会議と園内研修、子ども達の食について考える給食委員会をそれぞれ毎月1回開催していますが、パートの先生方に協力してもらい勤務時間内に行っています。

事前に議題を職員に示しておくことで、各々の思いやクラスの意見をまとめて参加をする為、積極的な発言やスムーズな進行にもつながっています。

東保育所での取り組み紹介①「事務作業を集中して行う「勉強の日」で事務負担の軽減」

保育士にとって書き物など事務的な業務負担は大きく、残業になることもありました。 就業時間内で時間を工夫し何とか解決できないだろうかとの思いから、当園では2年前 から「勉強の日」という事務仕事に集中する時間の確保に取り組んでいます。

各保育士月1回程度のペースで勤務表に組み込み、その日は午後から1人で個室に入り、 集中して事務仕事に取り組みます。内容に定めはなく、指導計画や研修復命など日頃でき ない事務の何をやっても良い時間です。個室の確保や新たにパソコンを購入することで、 より効率的に事務作業ができるよう配慮し、事務作業を行う保育士の代わりに主任保育士 が現場に入りサポートしています。

子育て中の保育士も多いため、家庭との両立の面でもこの取り組みは職員から好評です。

東保育所での取り組み紹介②「職種別業務マニュアルの作成」

当園を運営する社会福法人石見さくら会は、法人内で保育所3園と高齢者福祉サービス 事業を複数運営しており、他職種にわたり多くの職員が働いています。

石見さくら会では、昨年度から法人全体で職種別業務マニュアルの作成に取り組んでいます。業務マニュアルの作成には、職員を指導・育成する上で、指導者が共通した視点を持って指導する事でより効果的な育成につなげるという目的があります。また、業務マニュアルに沿って指導する事により、今まで良いと思っていた事が実は改善が必要なのではという工夫にもつながっていくと考えています。

現場の考えを最大限尊重したマニュアルを作成するために、係長以上の職員が職種別に チームを組み、保育所においては3園の主任が中心となって保育士の業務マニュアルを作 成しました。作成に携わった主任保育士は「苦労はあったが自分自身の学びにもつながり、 指導を行う上でも自信をもって行えるようになった」と振り返ります。

いったん完成した業務マニュアルは職員一人一人に配付していますが、現時点のマニュアルが決して完成形ではなく、今後見直しを重ねながら更に深みや幅を広げ、どこの借り物でもない法人独自の業務マニュアルとして活用していきたいと考えています。

☆職員の声☆



亀山 涼子 先生

- ・保育士歴:2年
- ・3,4歳児を担当
- 6歳、3歳の子育て中

学校を卒後し県外で幼稚園教諭として勤めていましたが、結婚・出産を経て「子育てしやすい所で暮らしたい」との思いから、2年前に私の出身地である邑南町へ一家でUターンしてきました。

引き続き子どもの成長に関わる仕事に携わりたいとの思いから、保育士として当園に再就職しました。職員の仲も良く、分からない事や困った事にもしっかりサポートしてもらい、安心して仕事をすることができています。保育士は書き物も多いですが、

「勉強の日」に集中して仕事ができるので、子育て との両立にとても助かっています。

♪ 保育っていいな ♪ ~日々の1コマより~







寺脇 麻美 先生

- •保育士歴:11年
- ・2歳児を担当
- 小1.3歳の子育て中

生まれ育ったのは県外ですが、母の出身である 邑南町に両親がUターンした事を機に、この町へ 来て当園で働くことになりました。

身内以外知り合いがいない土地で働き始め、当時は20代の職員が少なくベテランの先輩方が沢山おられる中で、自分の働き方にとまどい悩むこともありましたが、歳の近い先生にとても良くしてもらい、だんだんと職場に打ち解けることができました。歳の離れた先輩方にとても優しく多くの事を教えていただき、可愛がっていただけたことで、これまでやってこられたと感じています。



